

— 世界で活躍する芸大院生のヴァイオリンとピアノの演奏 —

Violin & Piano Concert



倉富亮太 ヴァイオリン



山中惇史 ピアノ

2017年2月26日(日) 13時半~14時半

大和カルバリーチャペル

入場無料 / 大和駅より無料送迎バスあり(12:45,13:15)

プログラム
Program

ショパン ポロネーズ6番作品55「英雄ポロネーズ」

山中惇史編曲 赤とんぼ

ベートーヴェン ヴァイオリンソナタ9番「クロイツェルソナタ」

サラサーテ ツィゴイネルワイゼン 等

神奈川県大和市上草柳6-1-15 046-200-1010

yamatocalvarychapel.com

倉富亮太

ヴァイオリン



東京芸術大学音楽学部弦楽科を首席で卒業。在学中に福島賞、安宅賞、アカンサス音楽賞、三菱地所賞受賞。現在、同大学修士課程ヴァイオリン専攻に在学中。全日本学生音楽コンクール東京大会第1位、全国大会第3位。平成25年度優秀学生顕彰大賞受賞。公益財団法人青山財団奨学生。市川市文化振興財団新人演奏家コンクール最優秀賞。シゲティ国際コンクール入賞(ハンガリー)。リピッツァー国際コンクール第2位(最高位)、聴衆賞、ソナタ賞、オーケストラ好演賞等の特別賞受賞(イタリア)。公益財団法人ローミュージックファンデーション2016年度奨学生。2013年にlemond quartetを結成。ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール2012第2位。リゾナーレ室内楽セミナー奨励賞、音楽賞受賞。紀尾井シンフォニエッタシーズンメンバー(2014-2015)これまでに千田成子、清水高師、篠崎史紀各氏に師事。

山中惇史

ピアノ



東京芸術大学音楽学部作曲科を経て、同大学音楽研究科修士課程作曲専攻修了。指揮科、弦楽科ティーチングアシスタントを務める。作曲を梶場富美子、安良岡章夫、鈴木純明各氏に師事。第18回奏楽堂日本歌曲コンクール作曲一般の部第3位。東京芸術大学木曜コンサート(室内楽作品)及びモーニングコンサート(オーケストラ作品)に選抜される。2013年3月、ユーロアジア国際コンクール課題曲として作曲した「Danza」がコンテストによって初演され、公式伴奏者を務めた。「岡崎市立翔南中学校校歌」「JR岡崎駅イメージソング」など、出身地である岡崎市への楽曲提供も数多く行う。上野耕平、漆原朝子、漆原啓子、清水高師、ピエール・アモイヤル、松本蘭各氏と共演、委嘱を受けるなど、ピアニスト、作曲家として活動している。編曲の分野に於いても精力的に活動し、ラ・ルーチェ弦楽八重奏団からの委嘱作品「ピアソラ/リベルタンゴ」は宮崎国際音楽祭にて徳永二男、ジュリアン・ラクリン各氏をはじめ世界的奏者に演奏され注目を浴び、国内外で再演されている。「めざましクラシックス」「真田丸」などのアレンジも担当。NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」BS-TBS「日本名曲アルバム」などに出演。2014年、小川響子(Vn)氏とのデュオで第2回デザインK国際音楽コンクールにてグランプリ受賞。現在は東京芸術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻に在学し研鑽を積む。ピアノを江口玲氏に師事。

「おどろきをもってはじまり、おどろきをもって終る」とは、ヘルマン・ヘッセの「蝶」からの引用であるが、この言葉は、「驚嘆するために私は存在する!」というゲーテの詩句をヘッセが使用したものらしい。

今日のコンサートは、お二人の音楽家を通して「驚き」を体験できる最高の凄すぎる時間である。

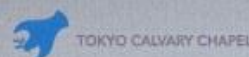
聖書には「驚き」という言葉があふれている。それは「His name is Wonderful!」(メサイア)から来るのであろう。幸せを共に味わいましょう!



大和カルバリーチャペル 牧師・大川従道

東京カルバリーチャペルでも 同日演奏して下さいます

2月26日(日)17時~
ハイアットリージェンシー東京



Violin & Piano コンサート

2月26日(日)13時半~14時半

場所:大和カルバリーチャペル

神奈川県大和市上草柳 6-1-15 046-200-1010
yamatocalvarychapel.com

礼拝:毎週日曜 午前7・9・11時 FMやまと生放送11時

当日の礼拝(9時・11時)でも演奏されます



小田急線・相鉄線「大和駅」徒歩17分
小田急線「新宿」から快速急行藤沢行き 大和まで約45分
相鉄線「横浜」から特急海老名行き 大和まで約20分
東名高速「横浜町田」インターから246号厚木方面約15分